

【南木曾町の願う子どもの姿】「ふるさとを思い、自分らしく生きる なぎそっ子」

地域「みんなで楽しい思い出づくり」家庭「家族とともに成長」学校「一人ひとりのよさや可能性を伸ばす」

【本校の児童のよさ】

- 真面目で、学習や係の活動に真剣に取り組むことができる。
- 地域の伝統や文化に対する関心が高く、地区行事にも積極的に関わっている。
- 純朴で素直な児童が多く、異学年間の関わりが深い。

【 えがお(笑顔) あせ(汗) ゆめ(夢) 】
～かかわり合って、みんなが育つ南木曾小学校～

児童会目標 革命 ～新たな笑顔をつくりだそう～

研究テーマ：主体的に学びを創り出す子ども

【地域・保護者の願い】

- 友だちを大切にする気持ち、素直な気持ちを伸ばして欲しい。
- 向上心や自立心を身につけて欲しい。
- 南木曾町を愛し、南木曾町の将来を担う人になって欲しい。（町に生きる・育てる学力）



【 えがお 】

自分も友達も大切にする子ども
《相手意識・・・承認・尊重》

【 あせ 】

ねばり強く最後までやりぬく
《自分意識・・・自律・更新》

【 ゆめ 】

ふるさとや自分自身に夢と誇りをもつ
《共生意識・・・協働・共創》

何を
知っている？
何ができる？

「自分でできた」 自信の笑顔
「受け入れてくれた」 安心の笑顔
「選ぶことができる」 自由の笑顔

「頭・心・体を」 磨く汗
「目標に向けて計画し」 歩む汗
「相手と分かち合う」 喜びの汗

「願いに向けて」 探求する夢
「新たなことを」 創造する夢
「他とかかわる」 可能性への夢

知っている
こと、
できることを
どう使う？

【相手と対話する(伝える・聴く)】

- ・「ありがとう」を伝え合う
- ・「こうなのかな」と察する
- ・「じゃあどうする」と最適解を見出す



【自分の考えを持ち行動する】

- ・「どうしたいのか」と考え
- ・「これでいいのか」と立ち止まり
- ・「やってみよう」と動き出す



【多様なかかわりを広げる】

- ・「自分にできる事は」 関わりを見つけ
- ・「何のために、誰に、何を、どのように...」と追究、伝える、発信



学びに向かう
力や人間性

【相手に安心感を与える存在】

～多様性を受け入れ、矛盾や対立を克服～

【自分で考え判断し責任を持って行動】

～物事の本質をとらえ、自ら主体的に判断～

【人や地域や社会とつながる】

～新たな価値を生み出す・言葉にする～

【本年度の重点】～南木曾小学校の全ての教育課程・教育活動に位置づけ、一人ひとりが実現させる主体として、総合的に学校目標の具現にアプローチしていく～

- ① 主体的に学びを創る多様な環境：個別最適な学び・協働的な学び、振り返りの充実、個々に配慮した学びの環境、自己選択・決定 等
- ② 生活を創る・楽しむ・つなげる学び：生活課題、学級活動、児童会、異学年交流、各種行事、企画推進 等
- ③ リアルな体験活動で深める学び（探究的な学び）：地域の「ひと・もの・こと」に学ぶ、コミュニティスクール連携
- ④ デジタルなICT活用と読書で広げる学び：情報リテラシー（適切な活用、情報モラル等）、情報の選択・読書力
- ⑤ 園・小・中・高の連携、接続：小中1ギャップの軽減、15年間の連続的な育ち、交流活動 等

- ◇持続可能な仕組み
- ◇保護者・地域との連携
- ◇働き方改革の推進